

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

日本工業大学は社会課題に取り組み「人に寄り添う技術者」の育成を目指しています。自分の得意なこと、社会に貢献したい、人を笑顔にしたい、そんな想いに満ちた皆さんの夢をかなえる様々な出会いや気づきが本学にはあふれています。本学独自の「人と暮らしの支援工学センター」は、課題解決に果敢にチャレンジする、そんな学生たちの活動をサポートしています。

「大学で学ぶべきこと」とは何でしょう。色々な答えがあると思いますが、私は「社会で生き抜くための武器（専門力）を持つこと」「物事を

他者に共感できる 想像力を磨け



学長 成田 健一

深く多面的にとらえて、自分の頭・自分の言葉で考えて答えを出す力（人間力）を身につけること」と思っています。

社会では、大学で「何を学んだか」ではなく、皆さんが具体的に「何を身につけたか」

が問われます。社会に出てからも「使いこなせる」よう、本質を理解しながら一つひとつ積み重ねる学びを心がけてください。それが皆さんにとっての成長につながります。

成長とは、物事を見る観点

が増えること、以前見えなかったものが見えてくること、すなわち、自分という「器」作りです。「艱難汝を玉にす」という言葉がありますが、成長は奮闘の後に結果的に得るものです。努力なくして成長はありません。もちろん世の中には努力が結果に結びつかないこともあります。しかし、結果はウソをつくことがあっても、プロセスはウソをつきません。プロセスは自分の中で着実に積み重なる財産になります。むしろ多くの失敗や負の体験が生きる厚みをつくる。私はそう思っています。

成長のためのもう一つの鍵、それはなるべく異質なものに触れる機会を（いかに）増やす。

デジタルネイティブと呼ばれる皆さんは、ネットを駆使して情報を得ることは長けていると思いますが、重要なのは必要な情報をしっかりと見極める力です。皆さんの閲覧履歴からシステムが自動的に選び出すサイトだけを見ていたのでは、今の自分の殻を破ることはできません。そして、大学では普段合わない人と、どんどん知り合いになってください。自分とは違う立場の人が何を考えているのか、その人の感情や考えを想像する能力（empathy）を磨くことがとても重要です。

最後に、成長のエンジン、皆さんの「知的好奇心」です。

Always be full of curiosity!